

東松島

広報
ひがしまつしま

2006.11
November
No.20



歌って 踊って 楽しいね

※関連記事はP28に掲載

特集

今、私たち大人ができること…P2

トピックス スポーツの秋を満喫…P12

- 障害者の自立を応援します…P14
- 街の話題…P15
- City View…P16
- エンジョイ!! かんきょうライフ…P18
- 生き生きライフステーション…P19
- 知っ得情報…P20
- 各課情報…P24
- 市民のカレンダー…P25
- ヘルシーインフォメーション…P26
- 戸籍の窓など…P27
- 東松島訪ねある記、編集室からなど…P28

今、

私たち大人が できること

犯罪者から子どもたちを守る

近年、全国的に子どもたちが被害に遭う凶悪事件が続発しています。子どもが犯罪に遭わないため、子どもの安全を守るために私たち大人は何をすべきなのか。

今月号では、子どもたちが被害に遭わないためのポイントや市内での防犯に対する取り組みなどを紹介しながら、この身近にある問題を皆さんと一緒に考えてみることにしました。



「うちの子は大丈夫」は通じない

子どもたちを狙う不審者

子どもたちを狙った犯罪が全国的に発生する中、東松島市内でも児童・生徒が「声をかけられた」「腕をつかまれた」などの不審者出没情報が寄せられています。出没箇所はほぼ市内全域におよび、中には自

転車を倒されたり顔を殴られたりと、身体的な被害を受けたケースも発生しました。

全体の件数は、市に報告があつただけでも平成17年度が13件。平成18年度に至っては9月末日までに10件の報告があり、日没が早まるこれからの季節には、さらに件数が増える可能性があります。

第1章 不審者の 出没事案

下校途中に

腕をつかまれ…

実際に市内の子どもたちはどのような被害に遭っているのでしょうか。

ここでは不審者出没事案の一部を紹介します。

ケース①

（平成17年7月発生／

矢本字四反走）

小学1年の女兒が友達の家遊びに行く途中、向かい側から歩いてきた10歳代後半と思われる男に無言で口をふさがれた。

女兒はとつさに男の手を噛み、難を逃れて自宅へ逃げ帰った。

ケース②

（平成17年11月発生／

赤井南小学校庭西側踏み切り）

小学4年の女兒が帰宅途中の踏み切りで電車の通過を待っていたところ、後ろから来た車にクラクションを鳴らされ、「家に連れて行くから車に乗れ」と声をかけられた。

すぐに遮断機が上がったため、女兒は自宅に逃げ帰った。

ケース③

（平成18年5月発生／

奥松島運動公園駐車場）

小学2年の男児4人が自転車に乗って遊んでいたところ、白色の軽トラックから40歳代と思われる男が降りてきて、無言で児童1人の自転車のカゴをつかみ倒した。

児童は転倒し擦り傷を負い、事情を聞いた友達の母親が警察に連絡。男の姿はすでになかった。

ケース④

（平成18年9月発生／

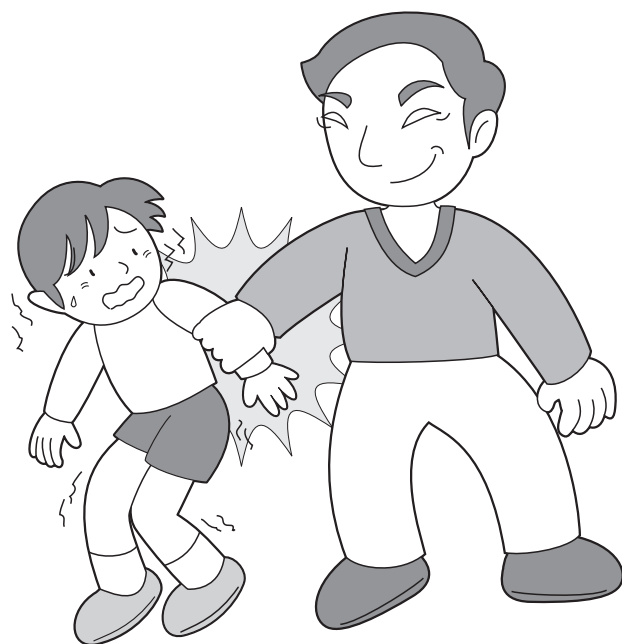
矢本字上河戸）

中学生の女子生徒2人が帰宅途中、1人の女子生徒が30歳代と思われる男に腕をつかまれた。驚いて振りほどいた

これらを含め、市内で発生したいずれの不審者騒ぎでも、幸い重大な事件に発展するとはありませんでした。しかし、これだけ多くの子どもたちが怖い思いをしたということは、紛れもない事実です。皆さんのとても身近な場所で発生しているこの事実から子どもたちを守るために、大人たちによる防犯対策が、今求められています。

国内で近年発生した下校中などの 子どもが殺害された事件

日時	被害者	事件の概要
2004年 3月	群馬県高崎市 で下校中の小 1女兒	同じ県営住宅に住む男(26)がエレベーター前で待ち伏せし、部屋に連れ込む
11月	奈良県奈良市 で下校中の小 1女兒	性犯罪歴のある新聞販売店員の男(36)が車に誘い、自宅に連れ込む
2005年 11月	広島県広島市 で下校中の小 1女兒	通学路沿いに住むペルー国籍の男(33)が声を掛け、アパートに連れ込む
12月	栃木県日光市 で下校中の小 1女兒	下校中に行方不明となり、23時間後に茨城県内の山林で遺体を発見(未解決)
2006年 3月	神奈川県川崎市 で下校中の小 3男児	無職の男(41)がマンション15階の廊下で声を掛け、手すり越しに投げ落とす
5月	秋田県藤里町 で下校中の小 1男児	下校中に行方不明となり、約10キロ離れた草むらで遺体を発見。無職の女(33)が死体遺棄容疑で逮捕



第2章 子どもを守る (家庭編)

愛する

家族のために

「どうで遊ぶの?」

子どもたちが事件に巻き込まれないようにするためには、周りの大人がそれぞれの立場で防犯に対する取り組みを行う必要があります。

このうち、最も身近で効果的



くない」「まだ、小さいから」などと大人は言葉を濁しますが、事件に巻き込まれないためにその子の成長に合わせた、より具体的な指導をすることも必要なことなのです。

また、「知らない人にはついて行かない」の指導にも注意が必要で、子どもにとって「知らない人」が話しかけてきて、その人が自分自身や自分の家族の名前を知っていたらどうでしょう。子どもはその人のことを信じていい人だと思ってしまうかもしれません。

名前は名札や自宅の表札などから簡単に入手できる情報です。自分の名前を知っているからといって信じていい人とは限らないことも、しっかり教えましょう。

「気をつけて」に
気をつけて

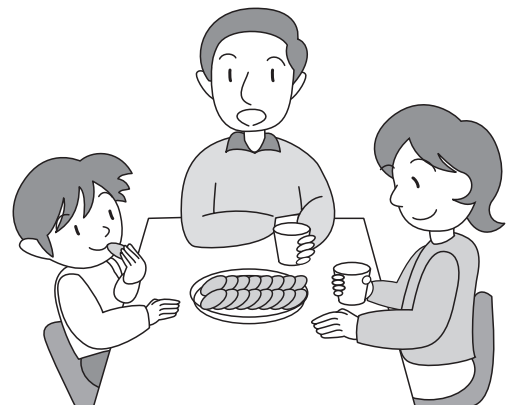
子どもが外出する際に決まり文句のように声掛けしている「気をつけて」という言葉の使い方にも、実は注意が必要です。

大人はこの言葉に「交通安全」「防犯対策」など、さまざまな意味合いを込めて子どもたちに注意を促します。しかし、子どもが何に対して「気をつける」のか分からなければ、まったく意味を持たない言葉になってしまう。

「子どもに変なことは教えた

大切な子どもとの
コミュニケーション

このほかにも、「子どもが1人きりになる時間を把握する」「大声を出す練習をしておく」「防犯ブザーの使い方練習をしておく」など、万が一の事態を



考え備えておかなければならないことはたくさんありますが、これまでに述べた防犯対策はあくまでも一般的な例です。

子ども一人ひとりの生活様式や自宅周辺・通学路の環境などによって防犯対策は無数に考えられます。日ごろから子どもとコミュニケーションを図り、効果的な防犯対策について話し合うことが大切です。また、実際に不審者に出くわした際に、体が萎縮して身を守れなければ意味がありません。不審者に狙われた場合、どのように対処するかを子どもと一緒に繰り返しコミュニケーションしておくことが、大切な家族を守る最良の手段ではないでしょうか。

子どもが被害に遭わないためのポイント

子どもが事件に巻き込まれないために、日ごろから家庭内で話し合っておきたいポイントの例をあげました。大切な家族を守るために、「我が家の防犯対策」に活用してください。

《子どもたちへ》

- ひとりでは遊ばない
- 誰と、どこで遊ぶのかを必ず家の人に話してから遊びに行く
- 名前の知らない人に声をかけられても絶対について行かない
- 「家において」「車に乗らない?」と声をかけられても「家の人に相談してから」と断る
- 連れて行かれそうになったら大声で助けを呼ぶ
- 防犯ブザー、防犯ホイッスルをいつも身につけておく

《保護者の皆さんへ》

- 外出するときは、行き先、用件、帰宅時間を必ず言うように習慣づけましょう
- 知らない人には絶対について行かないように日ごろから言い聞かせましょう
- 暗いところや人がいないところへは行かないように注意しましょう
- 定期的に自宅に連絡するように習慣づけましょう
- 夜遅くなったりしたときは迎えに行きましょう

「いかのおすし」をおぼえよう!!

「いか」…知らない人についていかない

「の」…知らない人の車にのらない

「お」…おおごえを出す

「す」…すく逃げる

「し」…何かあったらしらせる

※下線部分をおぼえよう!!



我が家の防犯対策

親子の話し合いが大切



後藤常子 さん
(下町四)

我が家では子どもたちと学校、通学路、防犯のことなど、さまざまなことについてよく話し合うようにしています。まず、親が聞く姿勢を持ち、子どもが何でも話してくれる雰囲気づくりをすることも、防犯対策のひとつだと思います。このような親子関係をつ

くることにより、子どもは約束を守り、心配をかけないように注意して行動してくれるようになります。子どもたちを狙った犯罪の多発には憤りを感じますが、一方でこういった社会になってしまったことへの疑問も感じます。私もPTAの防犯活動などに参加していますが、子どもたちは地域みんなの宝という意識で、温かく見守り、危険な行動を取っているときは厳しく注意することも、深い愛情ではないかと思えます。

地域の繋がりに感謝



志野 仁さん
(新町)

昨今、子どもたちを狙った犯罪が全国的に報道されていますが、幸い、この地区にはそういったことがないので安心していきます。しかし、いつそのようなことが起こるか分からないので、我が家では子どもたちに、登下校は集団でするように言い聞かせ、不審

者などがいればすぐに報告させています。また、登下校の際は、地域の方々へのあいさつをさせ、皆さんに可愛がられ、守っていただけるように努めています。防犯対策については、学校や地域のボランティアの方々などに子どもたちを守っていただいているので、感謝しています。私自身も地域の方々と繋がりを大切に、積極的に防犯活動にも参加し、我が子そして地域の子どもたちを守って行きたいと思えます。

児童生徒を守るボランティア団体一覧

(順不同)

No.	名称	学校名
1	矢本東小学校防犯組織	矢本東小学校
2	西小っ子見守り隊	矢本西小学校
3	学校安全ボランティア	大塩小学校
4	大曲小ふれあいネットワーク	大曲小学校
5	あかいっ子のためのボランティア	赤井小学校
6	・南っ子安全ネットワーク ・赤井南小安全ボランティア	赤井南小学校
7	小野小スクールガードボランティア	小野小学校
8	・新町地区学校安全ボランティア ・東名地区学校安全ボランティア ・亀岡地区学校安全ボランティア	野蒜小学校
9	浜小安全ボランティア	浜市小学校
10	※地区全域への防犯に関する呼びかけ	宮戸小学校
11	・生徒理解推進委員会 ・PTA校外指導部会	矢本第一中学校
12	※PTA街頭交通指導「2の日運動」	矢本第二中学校
13	※現在検討中	鳴瀬第一中学校
14	※PTA街頭指導「5の付く日活動」	鳴瀬第二中学校
15	※生徒指導総合連携推進事業	矢本第二中学校区 (矢本二中、赤井・赤井南・大曲小)

(※はそのほかの防犯に関する取り組み)

第3章

子どもを守る (学校・地域編)

健やかな

成長を見守る

必要なのは
「見守りの目」

家の玄関から一歩外に出れば、家族の目の届かないところでいかなる危険が子どもたちを待ち受けているか、分からない世の中です。家庭内での取り組みだけでは万全とはいえません。そこで必要とされるのが、子どもたちに対する家族以外の

大人たちによる「見守りの目」です。今、市内では各小中学校や地域の方々に、犯罪者を含めたさまざまな危険から東松島子どもたちを守ろうという取り組みが活発化してきています。ここでは、防犯活動に取り組んでいるグループの一部を紹介いたします。

浜市小学校では※PTA活動の一環として今年の3月9日に「浜小安全ボランティア」を結成しました。72人の会員が、児童の登下校時などの安全確保に努めています。

地域全体で児童を守る

—浜小安全ボランティア—

だくことにより、学校側としてもそれらに関する対応を検討する課題をいただけるという効果も生まれています。

このほか、職員・保護者の方々の車に防犯パトロールのステッカーを貼ることに「地域全体で児童を守る」態勢の周知や、児童に対する防犯対策の指導などに取り組んでいます。

子どもたちを狙った犯罪は、地域の人々が子どもたちに関心を持って接することができると思います。今後も、学校とPTA、そして地域が一丸となり、活動を進めていきたいと思えます。



樋口 静夫 校長 (浜市小学校)

※PTA= 父母教師会

矢本第二中学校区(矢本二中、赤井・赤井南・大曲小)では平成18・19年度の2カ年にわたり、国立教育政策研究所からの委嘱事業「生徒指導総合連携推進事業」を実施することになりました。これは学校や家庭、地域や関係機関が一体となって児童生徒の健全育成に向け、地域のネットワークづくりを踏まえた実践的な取り組みを行うというものです。

子どもを守るネットワーク

—生徒指導総合連携推進事業—

決などに取り組んでいます。このうち、現時点では児童生徒に対して地域でのボランティア活動への積極的な参加を促がしています。続発する子どもたちを狙った犯罪の発生原因の一つに、地域と子どもたちとの関係の希薄さがあると思います。子どもたちのボランティア活動への参加がお互いの心を近づけ、大人たちの目が子どもたちに向けられることで、犯罪の芽を摘むことができるのではないかと考えます。

同委員会ではこれから、防犯対策をはじめとする生徒指導全般について、関係機関と連携して取り組んでいきたいと思ひます。



千 葉 まさと 人 教諭 (矢本第二中学校)

一つになろうとしています。

第3章

子どもを守る
(学校・地域編)

平成16年4月、矢本西小学校のPTA会員やOB、元教師や地域の方々を中心に学校支援ボランティア「西小っ子見守り隊」が結成されました。現在の会員は約50人。主な活動は登下校時の子どもたちの「見守り」です。

特に時間の指定はなく、会員が生活のリズムを崩さずに、散歩や買い物に行き来の際に地区内の子どもたちを目を配っています。また、連絡網も整備されており、学校側からの不審者情報を受けて一斉に見回りを行う態勢も整っています。

会員の目印は、私がかぶっている「西小っ子見守り隊」で書かれた緑色の帽子です。学校の全校集会や新入生の教室訪

歩く子ども110番の家

—学校支援ボランティア「西小っ子見守り隊」—

問、運動会などへ足を運び子どもたちに会の存在を知らせることにより、活動3年目の現在では帽子をかぶって道を歩いている「見守り隊のおじちゃん」はようございませうと声を掛けてくれる様になりました。

この大人が不審者か分かりづらいこの時代に、「西小っ子見守り隊」と書かれた緑色の帽子をかぶり、会員証を携帯している私たちは、さながら「歩く子ども110番の家」ということでしょいか。今後とも会員を増やし、子どもたちが安心して生活できる地域づくりを目指し、学校や地域の方々との連携をとりながら活動して行きたいと思ひます。



飯 塚 きょうじ さん (河戸)



とう ぼう あきら
 當 房 明 支部長（上河戸一）

陸海空の自衛隊OBで組織する隊友会の東松島支部では、今年の9月8日より地域防犯活動を開始しています。

主な活動の内容は子どもたちの見守りと防犯に関する声掛けで、会員一人ひとりが午後2時から5時までの間、防犯活動の証となる腕章を巻いて散歩や買い物、用足しなどの際の実施していきます。このほか、犯罪行為を発見した際や犯罪が予測される場合の警察・市役所への通報も活動内容の一つです。

700人の「見守る目」

—隊友会東松島支部—

警察などからの要請により活動する「集中パトロール」などにも取り組みたいと考えています。会では「人間同士の『心』の繋がりが薄れてきている」と感じる昨今、大人たちが子どもたちに声を掛けることで信頼関係が生まれ、地域環境が改善されることにより子どもたちを犯罪から守れると考えています。そして、会員は170人ですが、市内には自衛隊OBが700人以上おり、その全員が「犯罪から子どもたちを守りたい」と考えていると思います。自衛隊OB一人ひとりが地域の子たちと交流を深め、その子たちが安心して暮らせる地域づくりの手助けを進めたいと思っています。

「子どもたちの健やかな成長を見守る」 今、地域で暮らす大人たちの思いが、



うし いえ くに あき
 氏 家 國 昭 隊長（柳北）

市防犯実働隊では、犯罪を予防し、明るく住み良い街づくりを推進するため日夜、防犯活動に取り組んでいます。

平成17年度には通常パトロールを77回実施。また、不審者による声掛け事案が発生した際には、不審者の捜索や児童生徒への街頭指導を実施してきました。

子どもたちを犯罪に巻き込まないためには、家庭内での対策が一番効果を発揮します。私にも小学生の孫がいますが、やはり登下校は家族の者が送り迎えをして、さらには日ごろから防犯に対する指導もしています。その次に、大きな役割を果たすのが地域・学校関係者の方々の取り組みです。

住み良い街づくりを進める

—東松島市防犯実働隊—

全国的に子どもたちを狙った犯罪が多発し、東松島市内においても児童生徒への声掛け事案が発生する中、子どもたちの健やかな成長を願う思いは防犯実働隊員も、市民の方々も同じだと思えます。

一部の心無い大人の行為により、その願いが崩されてしまわないように、地域の一人として隊員一丸となり防犯活動に取り組んでいきます。

なお、防犯実働隊では隊員を増員した上で、地域のさらなる安全を目指し活動して行きたいと考えています。矢本地区の方はもちろんのこと、鳴瀬地区の方もぜひ入隊いただきたいと思います。

全国的に小学生などの児童生徒が犯罪被害に遭遇する凶悪事件が続発しています。宮城県内でも、声掛け事案や腕をつかんだり追い掛け回すなどの事案が頻発（ひんぱつ）していて、今年も9月末までに約140件の事案が発生しています。

このうち石巻警察署管内では同種事案が18件発生し、東松島市においても、特に下校時間帯や夕方に「車で追いつける」「無言で腕をつかむ」「一緒に遊ぼうなどと声を掛ける」などの事案が発生しています。

警察はこのような事案の発生を防止するために下校時間帯のパトロール活動を強化していますが、保護者の皆さんや子どもを取り巻く地域の皆



鈴木 健 光 所長

宮城県で140件発生

—石巻警察署矢本交番—

皆さんの協力により、未然に防げるケースも多々あります。特に、地域の皆さんによる自主的パトロール活動は、地域の連帯を強めるだけでなく、互いに防犯意識が向上し犯罪に強い街づくり非常に効果的です。

東松島市には防犯実働隊をはじめ、スクールガードリーダー、小学校単位でのPTAを中心とした自主防犯組織、学校周辺に居住する方々による防犯ボランティア組織などによる自主防犯パトロール活動が活発に行われています。

警察でも、この皆さんと連携を取りながら、防犯への取り組みを進めていきたいと考えています。

参考までに・・・

自らの暮らしは自らが守る

全国の自主防犯ボランティア活動状況

今、全国的にも地域住民・ボランティア団体による自主防犯ボランティアが続々と誕生し、「自らの暮らしは自らが守ろう」と、活発な取り組みが行われています。

警察庁が調査した結果によると、平成17年12月31日現在、全国での自主防犯活動を行う地域住民やボランティア団体の結成状況については、団体数が約2万団体。構成員数は119万4千人に達しています。また、宮城県内においても328団体が活動しており、活動の月平均の日数や取り組み内容についてはさまざまですが、地域内の安全・安心を目指し、住民が力を合わせて防犯活動に取り組んでいます。

警察庁が「自主防犯ボランティア活動支援サイト」を開設

警察庁では、近年の自主防犯ボランティア活動の盛り上がりを受けて、すでに活動しているボランティア団体のほか、新しく自主防犯活動を始めた団体など、それぞれ地域に根ざした活動を展開している方々のために「自主防犯ボランティア活動支援サイト」を開

設しています。

同サイトでは、全国的なボランティアの活動状況や事例の紹介、また、活動を実施している方々やこれから団体を結成する予定の方々へのアドバイスをしています。ぜひ、ご覧ください。

「自主防犯ボランティア活動支援サイト」

<http://www.npa.go.jp/safetylife/seiinki55/index.html>

防犯まちづくりの基本的な手法を紹介します

■人の目の確保(監視性の確保)

多くの「人の目」(視線)を自然な形で確保し、*犯罪企と凶者に「犯罪行為を行えば、第三者に目撃されるかもしれない」と感じさせることにより犯罪抑止を図る。

■犯罪企図者の接近の防止(接近の制御)

犯罪企図者の侵入経路をなくし被害対象者に接近することを妨げることにより、犯罪の機会を減少させる。

■地域の共同意識の向上(領域性の強化)

地区内において住民などが「我がまち意識」を持ち、コミュニティの形成、環境の維持管理、防犯活動の活性化などを通じて犯罪抑止を図る。

(平成15年7月、防犯まちづくり関係省庁会議が取りまとめた「防犯まちづくりの推進」から抜粋)

*犯罪企図者…犯罪を行おうとくわだてる人

第4章

子どもを守る 地域づくり

「安全・安心」神話を

取り戻す

「見守る目」が 失われた訳

昔から、子育てに関する日本の「安全・安心」神話は、地域の子どもたちを地域の大人たちが力を合わせて守り育てることが

により、受け継がれてきました。しかし、最近では地域内における大人たちの関わりが薄れ、信頼関係が失われ始め、それに伴って子どもたちが「信頼できる大人」と「信頼できない大人」の区別を付けづらい世の中に

なっています。

このような社会では、「道端ですれ違う人にはあいさつをする」「知らない人に道を聞かれたら親切に答える」と教えるにはあまりにも危険が多く、明るい社会づくりに反すると感じつつも「知らない大人は信用しない」という指導を徹底することが、子どもたちを犯罪者の魔の手から遠ざける最良の手段、と言わざるを得ません。そして、大人同士の関わりが薄れることでお互いの家族、子どもたちへの関心も失われ、地域内での子どもたちを「見守る目」の減少にも繋がっています。

大人たちへの 警鐘

このような中、前段の第3章で紹介した子どもたちを守ろうとする学校や地域での取り組みは、地域内の大人たちが信頼関係を築く絶好の場となっているようにも感じます。

そして、その取り組みは市内全域に広がりを見せ、東松島市の大人たちが地域内の信頼関係を築き、そこで暮らす子どもたちへの関心を持つことにより「見守る」態勢が整い始めています。

全国で発生している子ども



もたちを狙った凄惨な事件は、希薄な人間関係の地域をつくってしまった大人たちに対する、警鐘のように感じます。

子どもたちの健やかな成長を支える地域は、大人たちが積極的に地域活動に参加し、そこでの交流によって生まれる信頼関係によつて培われるのではないのでしょうか。地域づくりに参加せず、地域で暮らす子どもたちに無関心な大人が増えていく今、本当の意味での子どもたちを育てる明るい社会づくりは、子どもたちが安心して家族以外と触れ合える地域を、大人たちがつくれるかどうかにかかっていると思います。

その地域づくりが達成されたとき、市民一人ひとりが子どもたちに「見守りの目」を向け、悲惨な事件から街の宝を守る社会ができあがるのではないのでしょうか。



▲地域の人たちに見守られていれば、安心して学校に行けるよ

スポーツの秋を満喫

リフレッシュユフェスティバル開催

10月9日(月)の「体育の日」、鷹来の森運動公園や奥松島運動公園などを会場に、東松島市リフレッシュユフェスティバル(市体育協会主催)が開催されました。

このイベントでは、東松島市長杯ソフトボール大会をはじめ、若鷹旗争奪少年野球大会や市民卓球大会、バスケットボールフェスティバルや剣道の昇級審査会などを開催。天候にも恵まれ、参加した選手たちは日ごろの練習成果を発揮し、心地よい汗を流しました。また、ニュースポーツ「スポーツ吹矢」を体験するコーナーやキッズプレーコーナーも設けられ、大人から子どもまで約1,300人が「スポーツの秋」を満喫しました。

ここでは、各会場での試合、体験の様子をフォトスケッチで紹介します。

◀「絶対球!!行くぞ」(ソフトボール大会)



◀「フリースロー決めるよ!!」(バスケットボールフェスティバル)



▲「お母さん、楽しいよね～」(キッズプレーコーナー)



▶手に汗握る攻防(市民卓球大会)



▶応援席も盛り上がりました(少年野球大会)

▶日ごろの練習の成果を発揮(マレットゴルフ大会)



▲アウトかセーフか!?熱戦展開(少年野球大会)

開催イベントと試合の結果一覧

(個人名は敬称略)

イベント名		会場	順位またはイベント内容			
			優勝	準優勝	3位	
第2回東松島市長杯争奪男子ソフトボール大会		鷹来の森運動公園	西浜分館	裏沢分館	河戸分館	南区東分館
第35回若鷹旗争奪少年野球大会		鷹来の森運動公園	赤井ビクトリー	矢本クラブジュニア		
第2回東松島市マレットゴルフ大会		奥松島運動公園	相澤 妙子 (下浜一)	菊地 俊夫 (東名新場)	佐々木 馨 (貝殻塚二)	
第3回東松島市バスケットボールフェスティバル	女子トーナメント	市民体育館	石巻西高等学校	05Y. SHOOTERS	矢本第一中学校	矢本第二中学校
	男子リーグ		東松島クラブ	航空自衛隊松島基地		
	スリーポイントシュートコンテスト		東松島・矢本高校	石巻西高校		
第1回東松島市民卓球大会	オープン団体	奥松島体育館 (バウンズ88)	もみじ	クロマティ	矢本二中OB	市役所A
	オープン男子個人		柴田 英則 (市役所)	小堤 郷司 (矢本二中OB)	齋藤 大智 (キクラゲ)	杉山 未来哉 (クロマティ)
	ラージボール団体		くまさん	下町分館 ラージボール	ひまわりA	鳴瀬卓球愛好会A
	ラージボール男子個人		高橋 哲也 (鳴瀬卓球愛好会)	藤田 祥三 (下町分館 ラージボール)	須釜 哲雄 (下町分館 ラージボール)	島田 和義 (くまさん)
	ラージボール女子個人		佐々木 美知枝 (くまさん)	大久保 愛 (鳴瀬卓球愛好会)	松下 泰 (赤井卓球愛好会)	宝来 ヒサ子 (赤井卓球愛好会)
	中学生女子個人		八木 美佐紀 (矢本一中)	石垣 萌美 (矢本一中)	菅原 奈美 (矢本一中)	高橋 梨紗 (矢本一中)
	中学生男子個人		佐藤 大樹 (矢本一中)	上部 祐哉 (矢本一中)	菅原 裕太 (矢本一中)	尾形 和昭 (矢本一中)
ニュースポーツ体験コーナー (スポーツ吹矢)		市民体育館	人気急上昇のニュースポーツ、スポーツ吹矢を体験。1メートル程度の筒から矢を放ち、5メートル先のまに撃ち当てました。			
剣道昇級審査会		矢本一中武道館	市内の剣士たちがレベルアップを目指し、審査に挑み35人が合格しました。			
キッズプレーコーナー		奥松島運動公園	市内のちびっ子たちが、大集合。いろいろな遊び道具で体を動かし、さわやかな汗を流しました。			

障害者の自立を応援します(1)

障害者自立支援法の施行に伴い、地域生活支援事業(広報10月号掲載)を市の事業として実施することになり、今回からシリーズで内容などをお知らせします。今回は相談支援事業についてです。

障害者相談支援事業

これまで相談窓口として、社会福祉法人矢本愛育会が障害児(者)地域療育等支援事業(県委託事業・今年度も実施)を、また全般について福祉課(保健師など)や身体・知的障害者相談員がそれぞれ行ってきましたが、10月から相談体制を強化し、専門の窓口を開設しました。

障害をお持ちの方やそのご家族の悩みや疑問など、さまざまな相談に専門の相談員(精神保健福祉士・医療ソーシャルワーカー・社会福祉士など)が応対しますので、お気軽にご相談ください。料金は無料です。

なお、これまでどおり市保健師などと連携を図り支援体制を充実させていきます。

■時間 月々金曜日
8時30分～17時30分

※緊急の場合は、時間外や土・日曜日も対応します。

■相談先

矢本字太子前324-13

☎(代) 84-2016

(FAX 同番号) 知的障害者授産施設「ぎんの星」併設

■時間外の相談先

☎(代) 84-2016

相談支援事業とは

相談支援事業の内容は、次のとおりです。

○障害福祉サービスなどの利用援助や、社会資源を活用するための支援

○現代の社会情勢の中で、自分のニーズを満たしつつ、社会参加をしていくための支援

○障害をお持ちの方の自己信頼を回復するための支援や権利擁護、意識確立のための支援、専門機関の紹介など

○知的や精神障害のため、賃貸契約による一般住宅への入居が困難な方への支援や、緊急に対応が必要な相談支援および関係機関との連絡・調整など

○成年後見制度に関する支援

10月から
新サービス
スタート

主な障害福祉サービスは、

次のようなサービスです

<介護給付>

行動援護

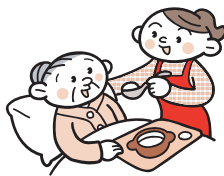
知的、精神障害などにより行動上、常時介護が必要な方の危険回避や外出時の移動介護

居宅介護

ホームヘルプ＝居宅での入浴、排泄、食事の介護など

短期入所

ショートステイ(宿泊)＝施設に短期入所しての入浴・排泄・食事介護など



療養介護

医療を要する常時介護が必要な方への、昼間行う機能訓練・療養管理・看護・医学的管理下の介護など

共同生活介護

ケアホーム＝共同生活を営む排他な住居での入浴、排泄、食事の介護などの援助

<訓練等給付>

自立訓練

身体機能・生活能力向上のために必要な訓練など

就労移行支援

就労希望者に、就労に必要な知識・能力向上の訓練

就労継続支援

雇用が必要な困難な者への就労機会の提供と生産活動をとおしての知識・能力向上の訓練など

共同生活援助

グループホーム＝共同生活を営む住居での日常生活上の援助

「地域活動支援センター」オープン

センター」オープン

障害者自立支援事業の施行に伴い、市の委託による地域活動支援センターがオープンし、関係者を招き、10月5日(木)に開所式が行われました。活動支援センターは、在宅されている障害者の方々の日中の交流の場となります。場所は、知的障害者授産施設「ぎんの星」に併設されており、原則障害の種類は問いませんが、今年度は主に精神に障害をお持ちの方を対象としています。

時間や内容については、次の広報で紹介しますが、自宅で日中活動されている障害をお持ちの方で興味のある方は、どうぞご参加ください。相談支援事業も併せて行いますので、ご活用ください。



▲開所式の様子

街の話題



◀丁寧な診察が行われます

宮戸クリニック 開院

10月5日(木)、宮戸の奥松島縄文村交流館に宮戸クリニック(医療法人医徳会)が開院しました。開院に先立って、地域住民や市関係職員ら約30人が集まり開院式が行われました。

宮戸クリニックは、交流館の研修室を改修して待合室、診察室、処置室を設け診療としては、内科、循環器科、小児科、外科が診療科目となります。

この日、受診者第一号としてクリニックを訪れた里北地区の鈴木あや子さん(72歳)は、「血压を診てもらいにきましたが、近くに診療所があると助かります。先生になんでも言えるので良かった」と感想を語ってくれました。

診療日時は、毎週木曜の午前(9時から12時まで)となります。クリニックでは薬は扱いませんが、その日のうちに処方せんを受けた指定の調剤薬局が利用者宅に届けるようになっています。



▲処置室の様子



▲縄文村交流館の外観

100歳おめでとうございます



10月13日(金)、満100歳を迎えられた高松字猪鼻の内海よちぎさんに特別敬老祝い金が贈られました。特別敬老祝い金が贈られるのは東松島市になってから4人目。

内海さん宅を訪れた阿部市長は、「おめでとうございます。ずっと長生きしてください」と声をかけました。それに対してよちぎさんは「はい」とゆっくりうなずきました。よちぎさんは、旧矢本町出身で農家の信応(のぶお)さん(故人)に嫁ぎ、二男四女をもうけました。現在は、長男夫婦、孫夫婦、ひ孫2人の7人暮らしをしています。健康の秘訣に薬用酒を飲むのが日課になっているとのこと。

助役を紹介します

9月28日(木)の定例議会において、大沼雄吉氏を助役に選任する議案が議会において同意され、市長は10月1日付で助役選任辞令を交付しました。

ここでは、新しく就任された大沼助役の紹介をします。



大沼雄吉氏
(小野下)

プロフィール

1947年11月2日 旧鳴瀬町生まれ。石巻商業高等学校卒。66年に鳴瀬町役場に入り、総務課長、企画課長兼合併推進室長などを歴任。市となった2005年4月から社会福祉事務所長。



「City View」では市のイベントや地域的话题を皆さんにお届けします

地域の特色ある敬老会

9月3日(日)の照井・御下地区を皮切りに、市内各所で敬老会が行われました。東松島市で今年度に敬老の日を迎えられたお年寄りは、男性1,262人、女性2,368人の合わせて3,630人(平成18年9月6日現在)。それぞれ地元の分館や宿泊施設を会場に趣向をこらした会が行われました。

このうち、9月15日(金)には蔵しっくパークを会場に、下町四区の敬老祝賀会が開催されました。会には地区のお年寄り12人を招待。福祉ボランティア「G・うさぎ」の皆さんが大型絵本を朗読し、敬老を祝いました。

また、9月15日(金)にはかんぼの宿松島を会場に新町区の敬老会が行われ、招待されたお年寄り50人が、敬老を祝う歌や踊りのショーなどを満喫。会場は明るい笑いに包まれていました。



▲大型絵本に招待者は見入りました



▲プログラムを手に会話も進みます



▲今は懐かしのちんどん屋も敬老を祝福

▶対象者には区長さんから敬老祝い金が渡されました



▲ベルベーナ・ラ・フィエスタによる生演奏



▲各会場で手話のボランティアがグループ紹介をしました

音がかよう、心がかよう

9月24日(日)、「とっておきの音楽祭in東まつしま2006」(同実行委員会主催)が、市コミュニティセンターを中心に、昨年よりも2会場多い、6会場で行われました。

2回目の開催となる今回は、昨年の約2倍の820人、66団体が参加しました。

障害者と健常者がつながりを持つというこの催しは、障害の有無にかかわらずに音楽を通じて心のバリアフリーを目指していこうというもので、県内では2001年から仙台市で活動を開始。東松島市では、ボランティアの地元有志が中心となって企画、開催されてきました。

今回は、地元参加も含めて各地からさまざまなジャンルの団体が参加。矢本東小学校の4年生による手話を交えた合唱なども行われ、晴れ渡った秋晴れの下、音楽を通じて出演者も観客も一体となりました。

素直な心で日々勉強を

10月12日(木)、今年4度目の五人講演会が市コミュニティセンターを会場に行われました(同実行委員会主催)。

今回講師を務めたのは、野球解説者でアテネオリンピック野球日本代表のコーチを務めた高木豊さん。現役時代は、走攻守のそろった選手として大洋ホエールズで活躍しました。講話では、魅力あるリーダーの条件を自分の体験を基に話し、その話はアテネオリンピックの裏話にもおよんで会場を沸かせました。

講話の中で高木さんは、「挑戦は年をとるとしなくなるが、決して挑戦を忘れてはいけません」と話し、「人は何に対しても素直にならなくてはならない」と加えました。

講演の最後には、聴衆者を巻き込んだQ & Aもあり、「始球式は必ず空振りするきまりなの?」という質問に、「空振りは礼儀です」と答える場面もありました。



▲プロ野球選手になるために毎日スイングを欠かさなかったという



▲いろいろな国の人たちが会話を楽しましました

外国を身近に感じる国際交流

今回で10回目となる「みやぎのふるさとふれあい事業」(奥松島国際交流サークル主催)が9月30日(土)から10月1日(日)の2日間にわたり実施されました。

今年は宮城県在住の外国人留学生13人が参加。嵯峨深や大高森、縄文村や蔵しっくパークなどの見学を通じて、市内からの参加者などと交流を深めました。

市内見学の後に行われたふれあいパーティーでは、はじめに電谷すずゑ会長が「小さいながらも、このような身近な交流が国際平和に繋がっています」とあいさつ。続いて各ホストファミリーが紹介され、会食へと移りました。

会食は留学生の自己紹介や自分の国の紹介、日本文化への感想などの話題で盛り上がりを見せ、パーティーの最後には全員で宮戸音頭を踊り、和やかな雰囲気での交流会となりました。



▲がっちり握手する市長と輝風

10月1日、定川沿いで「定川クリーン作戦」(定川清流化推進協議会主催)が行われ、約千人の参加者が、両岸に分かれて燃えるごみなどを拾いました。参加者は、茂みに分け入ってごみを拾っていました。

古里の自然をそのままに



▲合せて意見交換も行われました

9月26日、東松島市出身の郷土力士、輝風(尾車部屋)が市長を表敬訪問しました。輝風は現在幕下43枚目。幕内を目指して頑張る輝風に、市長からさらなる飛躍を願うとの激励の言葉が送られました。

郷土力士輝風帰郷



▲茂みの中から自転車なども見つかりました

10年後の街へ

10月11日、東松島市総合計画策定委員長の三橋勇氏が、総合計画の基本構想素案を阿部市長に手渡ししました。受け取った阿部市長は「10年後にこの合併が成功だったと言われるようにしたい」とコメントしました。

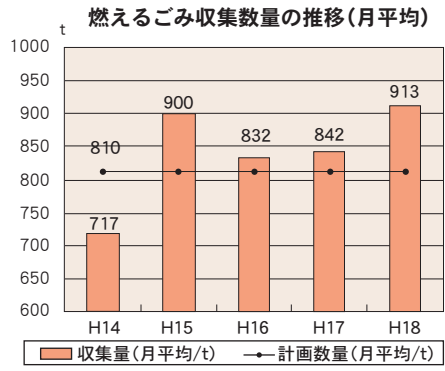
ゴミ減量アイディア募集!!

「粗大ごみ排出の有料化」 来春よりスタート

「ごみ非常事態宣言」 発令!

市内の各家庭から排出された「燃えるごみ」は、全て「石巻広域クリーンセンター」で焼却処理されています。

現在、東松島市からクリーンセンターに搬入されているごみの量は、施設設置計画の時点では、1カ月平均約812t（平成9年度実績）でしたが、平成18年度は、9月末時点で月平均約1,080tと、計画を約33%も上回っています。



このままでは、処理が追いつかず、燃えるごみの受け入れができなくなる可能性があります。

市では、早急な燃えるごみの減量が必要なことから、『ごみ非常事態宣言』を発令し、ごみの減量、抑制に力を入れていこうと考えています。

まずは、市の施設から出るごみを徹底的に減量し、併せて、市職員の家庭のごみも減量していきけるように、更に意識改革を進めています。



▲市役所での取り組み

市民の皆さんにも、大幅な減量をお願いしなくてはなりません。まずはできることから始めていただきたいと思えます。

たとえば「生ごみの水きり」

や「マイバッグ持参での買い物」、「雑がみの分別」などだけでも、かなりのごみの減量、資源化に繋がります。

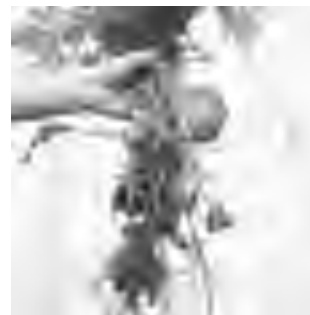
皆さんの生活に直結しているごみを減量しましょう。

庭草は土を落として 燃えるごみ指定袋で!!

最近、各地区の集積所に、根に「土」が付いたままの草が袋いっぱいに出されたり、半分以上「土?」と思われるような袋を出されていることがあります。

当然草も、燃えるごみ指定袋で出されれば燃えるごみ扱いになり、石巻広域クリーンセンターで処理されますが、土の重さもごみの重さとして計算されますので、市から支払う負担金の額が重さに比例して高くなってしまいます。

必ず土を落とし、できれば何日か置いて水分を抜いてから出すよう、お願いします。



▲草の土はきちんと落としてから!

「粗大ごみ排出の有料化」 来春よりスタート

「行財政改革集中改革プラン」にあるように、市では平成19年4月から、粗大ごみ排出の有料化を始めることになりました。

これは、粗大ごみを多く出す人に相応分の負担を求めるものであり粗大ごみを減らすことを目的としたものです。

新しい収集方法や指定日、料金などの詳細が決まり次第、この誌面などでお知らせして行きます。

市民皆様のご協力をお願いします。

廃棄物一口メモ

電動生ごみ処理機に続き、生ごみ堆肥化容器の購入補助金が残りわずかとなりました。

こちらも、順調に申請者が増えておりますので、早めの申し込みが必要です。



▲申請はお早めに

ごみ減量アイディア募集!!

市では、ごみ減量やリサイクルについて、皆さんの「こんな方法でごみ減量しています」とか「今の方法よりこの方がいい」、「ほかの市でやってるこの方法は?」というような意見やアイデアを随時募集しています。ごみの減量に繋がるようなものなら、どのようなアイデアでも構いません。生活環境課廃棄物対策係まで、Fax やメールでお送りください。市民皆さんのアイデアをお待ちしています。

■応募先 Fax 87-3804 メールアドレス haiki@city.higashimatsushima.miyagi.jp

購入を予定している方は、市役所鳴瀬庁舎生活環境課か、本庁舎市民課まで申し込み願います。

電動生ごみ処理機も、残りわずかとなっていますので、早めに、申し込みください。

■問 廃棄物対策係
☎内線 2162・2163

このコーナーでは、生涯学習や生涯スポーツに関する情報などを、お知らせします。

第11回ヤックンカップ争奪 家庭バレーボール大会出場チーム募集

- 日 時 11月26日(日) 午前8時30分より開会式
- 会 場 市民体育館
- 種 目 男子ビニールの部・女子ビニールの部

	男子ビニールの部	女子ビニールの部
コ ー ト	8×12m	8×12m
ネ ッ ト	2 m30cm	2 m20cm
登 録	12人まで	12人まで
プレー中	8人	8人

- 参加資格 家庭バレーボールを愛好する団体および分館組織など
- 参加料 1チーム 3,000円
※家庭バレー協会登録チーム 2,000円
※参加料は11月21日の監督会議の際に受領
- 申込方法 11月17日(金)17時で締め切り
※ Fax の場合は東松島市民体育館まで
- 申 込 先 ①鳴瀬庁舎2階 体協事務局(スポーツ振興課)
②東松島市民体育館(Fax82-1170)
- 監督会議 11月21日(火)19時より、東松島市民体育館2階研修室で行います。
- 問 東松島市民体育館 ☎82-9030
スポーツ振興課スポーツ振興係 ☎内線 2243

第2回ひがしまつしま市民文化祭

- 展示の部(なるせ会場/小野体育館)
11月4日(土) 10時～16時
11月5日(日) 10時～15時30分
- 舞踊の部(やもと会場/市コミセン)
11月3日(金・文化の日) 12時～
- 音楽の部(やもと会場/市コミセン)
11月5日(日) 11時～
- 芸能の部(なるせ会場/小野公民館)
11月4日(土) 19時～21時
11月5日(日) 10時～15時
- 問 生涯学習課社会教育係 ☎内線 2232

平成19年 成人式

- 日 時 平成19年1月7日(日) 13時(予定)
- 場 所 市民体育館
- 対 象 昭和61年4月2日生～昭和62年4月1日生
- 出席申込 出席希望者は最寄りの行政区長さんに連絡願います(11月20日期限)。後日、申し込みいただいた新成人の皆さんあてに案内状を差し上げます。
※成人式実行委員も募集中です。ぜひご参加ください。
- 問 生涯学習課社会教育係 ☎内線 2232

土木遺産シンポジウム —東北の土木遺産を見る・知る・楽しむ—

<「土木遺産シンポジウム」の開催案内>

- 日 時 11月26日(日) 13時30分～17時
- 場 所 東北歴史博物館・講堂(3階)
- 内 容 基調講演 「土木遺産を見る・知る・楽しむ」
足利工業大学 為国孝敏教授
パネルディスカッション 「どこにあるの?東北の土木遺産」
- 主 催 (社)土木学会東北支部土木遺産シンポジウム実行委員会
- 後 援 東松島市教育委員会
- 問 生涯学習課社会教育係 ☎内線 2232

「野蒜築港サンセットクルージング」参加者募集

- 日 時 11月25日(土)、26日(日) 13時～
※ JR 仙石線野蒜駅集合
- 定 員 20人(定員になり次第締め切ります)
- 参加料 9,000円(民宿1泊・夕食・朝食+船代)
- 内 容 25日(土)野蒜築港遺産見学会、土木遺産懇談会(民宿泊)/26日(日)「縄文村歴史資料館」見学後、各自交通機関を利用し東北歴史博物館へ
- 受付締切 11月15日(水)
- 問・申込 (社)土木学会東北支部事務局
☎& Fax022-222-8509
E-mail: jsce-th@luck.ocn.ne.jp

青少年健全育成市民会議地区懇談会

- <鳴瀬地区>
- 日 時 11月10日(金) 19時～
- 場 所 小野公民館2階講義室
- <矢本地区>
- 日 時 11月15日(水) 19時～
- 場 所 市コミュニティセンター2階会議室
- ※各地区の情報交換・協議です。ぜひご出席いただき、ご意見・ご提案をお願いします。
- 問 生涯学習課社会教育係 ☎内線 2232

映画「待合室」上映会

- 岩手の小さな無人駅の待合室に置かれた1冊のノートを巡って展開される心の交流が映画になりました。
- 日 時 11月28日(火) ①14時～ ②18時30分～
- 場 所 市コミュニティセンター
- 前売券 大人1,000円(当日1,500円)
小中高生当日のみ800円
- 販 売 市コミュニティセンターおよび各公民館
蔵しっくパーク、市民活動推進課
- 主 催 東松島市映画「待合室」上映推進委員会
- 問 市民活動推進課まちづくり推進係 ☎内線 2253

募 集

市立幼稚園入園児募集

平成19年度東松島市立幼稚園児の受け付けを開始します。

■募集する幼稚園・募集人数
△矢本中央幼稚園▽
■募集人数 4歳児 70人
5歳児 若干名

△大曲幼稚園▽

■募集人数 4歳児 35人
5歳児 若干名

※4歳児

平成14年4月2日

※5歳児

平成13年4月2日

※平成14年4月1日生

※平成14年4月1日生

■入園願書受付期間

11月1日(水)～10日(金)

※各幼稚園にて受付

■問 矢本中央幼稚園

☎ 82-4519

大曲幼稚園

☎ 82-4649

保育所入所児童募集

平成19年度4月入所児童の募集をします。入所希望の方は児童同伴の上希望する保育所で下記期間中に申し込みください。なお、入所には両親が働いており、家庭で保育ができないなどの条件がありますので、注意

ください。

■定員

・矢本東保育所 80人

・矢本西保育所 60人

・大曲保育所 60人

・大曲浜保育所 60人

・赤井北保育所 60人

・赤井南保育所 70人

・大塩保育所 60人

・牛網保育所 60人

・野蒜保育所 90人

・小野保育所 60人

■受付

11月13日(月)～15日(水)

■時間 9時～18時

■持参するもの 通帳番号のわかるものとその銀行印

■その他 ・大塩、牛網、野蒜、小野保育所はおおむね生

後6カ月から、そのほかの保育所は満1歳から入所できます。

・19時までの時間延長保育は矢本東、大曲、赤井南、牛網

保育所で行っています。

・定員超過の場合、希望する

保育所に入所できない場合があります。

■問 福祉課子育て支援係

☎ 内線1186

県営住宅入居者募集

■受付期間

11月6日(月)～13日(月)

■申込 専用の申込用紙を郵送(11月13日(月)までの消印有効)

■案内書配布場所 建築住宅センター、県営住宅のある各市区町村担当課、仙台市の各行政サービスセンター、各地方振興事務所、各公共職業安定所などで11月1日(水)より配布。

■問 (財)宮城県建築住宅センター

☎ 022-224-0014

24時間テレフォンサービス

☎ 022-213-1861

みやぎ食の安全安心

消費者モニター募集

県が行う食の安全安心事業に関するアンケートや講習会などに参加し、県に対して食の安全安心についての意見を提言していただける方をモニターとして募集しています。

県内在住の満18歳以上の方であればどなたでも登録できます。現在、モニターとして登録された方には、食品表示

のハンドブックをプレゼントしています。

■問 宮城県環境生活部食と暮らしの安全推進課

☎ 022-211-2641

読み聞かせボランティア養成講座参加者募集

■テーマ 小児科医師田澤雄作先生が語る「子どもの発達とメディア」 テレビを絵本にかえて

■講師 独立行政法人国立病

院機構仙台医療センター

小児科 医長 田澤雄作氏

■日時 11月19日(日)

■受付 13時 13時20分～16時

■場所 市コミュニティセンター

■募集人数 250人(無料)

■主催 東松島市図書館

・東松島市図書館

■主管 東松島市図書館読み聞かせボランティアおはなしのはなたば

■問 東松島市図書館

☎ 82-1120

吉岡孝悦

スーパーマリンバコンサート

—ハラハラシンガーズと共に—

現代音楽の作曲家としても有名な吉岡孝悦が、マリンバ表現を極めた演奏を贈ります。また、地元で有名なハラハラシンガーズとの演奏では、童謡唱歌メドレーやクラシックの名曲などを幅広くお届けします。

■日時 12月2日(土) 会場 18:00 開演 18:30

■場所 市コミュニティセンター

■入場券 前売り券 大人2,000円 小人1,000円
当日 大人2,500円 小人1,500円

■主催 市コミュニティセンター

■チケット販売先 市コミュニティセンター・市内各公民館・文尚堂・おいかわ文具店ほか

■問 東松島市コミュニティセンター ☎ 82-6969

演奏曲目

- 熊蜂の飛行 / アメリカンパトロール
- ・慕情・アニーローリ・剣の舞・ハンガリア舞曲第五番
- ・童謡唱歌メドレー他

自衛官など募集

△自衛隊生徒▽

■募集人員 陸 約250人／海 約60人／空 約50人

■資格

中卒(見込)17歳未満の男子

■受付期間 11月1日(水)

▽平成19年1月9日(火)

■試験日 1次試験

▽平成19年1月14日(日)

△貸費学生▽

■募集人員 陸・海・空 約10人

■資格 大学理・工学部の3・

4年次または、大学院修士課程

在学(正規の修業年限を終

わる年の4月1日現在で26歳

未満、大学院修士課程在学者

は28歳未満)

■受付期間 12月1日(金)

▽平成19年1月19日(金)

■試験日 1次

▽平成19年2月4日(土)

△2等陸・海・空士(男子)▽

■募集人員

陸 約5、290人

海 約1、020人

空 約1、630人

■資格

18歳以上27歳未満の方

■受付期間 通年

■問 自衛隊宮城地方協力本部

石巻地域事務所

☎83-6789

お知らせ

印鑑登録証の交換をまだされていない方、早めの交換を!!

旧町で使用していた印鑑登録証を、新市のもので交換しています。

■交換窓口

・旧矢本町で登録された方は

市民課窓口

・旧鳴瀬町で登録された方は

1-0-0の番号の方は、

鳴瀬総合支所窓口

2-0-0の番号の方は、

野蒜出張所窓口

3-0-0の番号の方は、

宮戸交付所窓口

旧登録証持参のうえ、各

窓口で交換されるようご協

力をお願いします。

■問 市民課窓口サービス係

☎内線1121

矢本第一中学校校舎

改築工事

児童・生徒の安全を確保し、

学校施設が地域の防災拠点

(避難場所)となることから、

市では、耐震性を向上させ

る工事を年次計画で行ってい

ます。今回、矢本第一中学校の

旧校舎(昭和38・39年度建設)

を調査した結果、構造上危険

な建物と判定されたので、解

体し、新校舎を建設すること

になりました。安全対策とし

ては、工事用出入口に交通誘

導員を配置し、児童・生徒およ

び周辺住民の安全に配慮して

います。なお、吹き付けアス

ベストは使用しておりません。

周辺住民の皆さんには、ご

迷惑をおかけしますが、学校

教育環境の改善のため、ご協

力をお願いします。

■問 教育総務課学校教育施

設係 ☎内線2214

宮戸小学校自主公開研究

今年6月に小規模特認校に

指定された宮戸小学校では、

「自分の思いや願いを生きて

きと表現する児童の育成」と

いう主題で、11月8日に自主

公開研究会を行います。この

機会に広く市民の皆さんにも

宮戸小学校を知っていただき

たく、ご案内申し上げます。

■日時 11月8日(水)

9時30分～12時30分

■会場 宮戸小学校

■日程 ①オリエンテーショ

ン／9時30分～9時45分②

公開授業Ⅰ／9時45分～10時

30分③公開授業Ⅱ／10時45分

～11時30分④表現発表会11時

45分～12時30分(合唱)

■参加申込 直接電話で宮戸

小学校に申し込みください。

■問 宮戸小学校

☎88-2209

防火管理講習を実施

△甲種防火管理新規講習▽

■日時 11月29日(水)

30日(木)

9時30分～16時30分

△乙種防火管理講習▽

■日時 11月29日(水)

9時30分～16時30分

■会場 石巻ルネッサンス館

■定員 甲種 130人

乙種 10人

■受付期間 11月1日(水)

～17日(金)

※土日を除く、8時30分から

17時15分まで、消防署・分署・

出張所で受け付けます。

■問 石巻広域行政事務組合

☎95-7111

「建築物等の地震防災対策」助成制度

木造住宅耐震診断・木造住宅耐震改修工事・危険ブロッ

ク塀などの除却などに関する

助成事業の申込受付を実施中

です。

①木造住宅耐震診断助成

募集期間は平成18年10月31

日までとしておりましたが、

募集定員枠が残っていますの

で定員枠に達するまでの間、

当面受付を継続いたします。

②木造住宅耐震改修工事助成

申込受付は平成18年12月25日

までとなっていますのでご注

意願います。

③危険ブロック塀等除却助成

※随時申込受付

■問 建設課建築係

☎内線1253・1259

人権擁護委員に

吉田さん再任



吉田 國夫さん (南五)

今年9月末で任期が満了と

なった人権擁護委員の吉田國

夫さん(南五)が、10月1日

付けをもって再び法務大臣よ

り委嘱を受けました。

家庭、職場、地域などでい

じめや差別などの不当な扱い

を受けていると感じたときは

どうぞお早めにご相談くださ

い。相談は無料、秘密は守ら

れます。

■問 市民課窓口サービス係

☎内線1121

鳴瀬総合支所市民相談係

☎内線2107

**11月は「児童虐待防止
推進月間」**

国民一人ひとりが児童虐待問題についてお理解をより一層深め、主体的な関わりを持つていただくための意識啓発を図ることとし、関係機関が協力して取り組みを実施します。「おかしい」と感じたら迷わず連絡へ通告✓をお願いします。気づいたら支えて知らせて見守って

■相談機関 市役所福祉課や母子保健の窓口で相談をお受けします。

また、県保健福祉事務所、地域子どもセンターでも相談をお受けします。

■問

福祉課子育て支援係

☎内線 1199

健康推進課健康推進係

☎内線 3105

石巻地域子どもセンター

☎0225-95-11121

石巻保健福祉事務所

☎0225-95-11431

中央地域子どもセンター

☎022-224-1532

子ども・家庭110番

☎022-211-4152

平成19年版みやぎ手帳販売

みやぎ手帳(大型版500円)は、

12月4日(月)から企画調整課で販売します。(今年から予約申し込みは不要です)

■問 企画調整課企画統計係

☎内線 1236・1237

平成19年版農業日誌などの予約受付開始

農業日誌などを11月下旬に発売予定です。購入希望の方は、11月15日(水)まで電話で申し込みください。

■農業日誌 (B6版 予約 特価1,400円)

■ファミリール日誌 (B5版 予約 特価1,400円)

■新農家暦 (A5版 予約 特価460円)

■問 企画調整課企画統計係

☎内線 1235

いきいき健康講座

■テーマ 「慢性腎不全の治療」ー腎移植と透析治療ー

■日時 11月16日(木)

■入場開始 18時

■講演 18時30分～19時30分

■講師 高橋寿先生 南三陸

志津川クリニック院長

■場所 市コミュニティセンター

■入場 無料

■主催 医療法人医徳会真壁病院

■問 真壁病院

☎82-77111

戦没者などの遺族の皆さまへ

■支給の対象者

平成17年4月1日現在で公務扶助料や遺族年金などを受けている遺族(戦没者の妻や父母・子など)がいない場合、三親等内の遺族に特別弔慰金が支給されます。

遺族内での優先順位などの要件がありますので、左記へお問い合わせください。

■支給方法 額面40万円の国庫債権を支給

■請求期間 平成20年3月31日

■請求窓口 福祉課 ☎内線1171・1173

鳴瀬総合支所 ☎82-1111 ※すでに申請書を提出された方へ

「宮城県からのお知らせ」

現在、弔慰金国債発行まで大変時間がかかっており、ご迷惑をおかけしています。裁定通知が発行されるまでに1年ぐらいの時間を要しています。ご理解のほど、よろしくお願いします。

■問 宮城県社会福祉課

☎022-211-2582

福祉課社会福祉係

☎内線1171・1173

■問 宮城県社会福祉課

☎022-211-2582

福祉課社会福祉係

☎内線1171・1173

精神障害者家族の集い

ご家族に精神疾患を持つ方

が集まり、同じ悩みを語り合い、互いに助け合うことを目的とした会です。

■開催日 11月27日(月)

■場所 市コミュニティセンター

■対象者 精神疾患と診断された方のご家族

■内容 座談会

■申込 11月24日(金)まで

■問 福祉課社会福祉係

☎内線1174・1175

アルコール依存症家族教室

家族教室では、アルコール依存症という病気についての知識や、対応の仕方についての理解を深めることで、ご家族の不安の軽減を図り、ゆとりある暮らしができるように支援しています。

■対象者 アルコール依存症と診断されている方・飲酒による暴力などの問題行動がある方

■会場 宮城県保健福祉事務所 保健所2階会議室

日	時	内容
1	11月17日(金) 13時～14時30分	・講話「アルコール依存症ってどういうもの?」/グループミーティング 講師:東北会病院 精神保健福祉士
2	12月14日(木) 13時～14時30分	・講話「アルコール依存症への家族対応について」/グループミーティング 講師:東北会病院 精神保健福祉士
3	平成19年 1月18日(木) 13時～14時30分	・講話「断酒会・AA・アラノンについて」/グループミーティング 講師:東北会病院 精神保健福祉士 NPO法人宮城県断酒会

■問・申込 宮城県保健福祉事務所 母子・障害班

☎95-11431



親子のコミュニケーション ショーン講座

この機会に親子の関係について一緒に考えてみましょう。

■日時 (2回コース)

11月9日(木)、12月15日(金)

■内容 具体的なコミュニケーションの仕方について、講話や演習などを通して学ぶ

■対象 小・中・高校生の保護者

■場所 矢本保健相談センター

■定員 30人程度

※定員になり次第締切

■問・申込 健康推進課健康推進係

☎内線 3105

「子どもの健康と家族の関わり」について講演会を開催します。

■日時 11月10日(金)14時

■内容 このまじりの健康について

■講師 精神保健福祉センター(精神科医)小原医師

■場所 市コミュニティセンター

■問・申込 健康推進課健康推進係

☎内線 3105

普通救命講習会

■日時 11月26日(日)

9時30分〜12時30分

■会場 市コミュニティセンター

■定員 50人

■受講資格 中学3年生以上

■受付期間 11月4日(土)〜18日(土)

■受付場所 矢本消防署、河南出張所、鳴瀬出張所

※受講申請の際は、印鑑をお持ちください

■受講料 無料

■問 矢本消防署警防係

☎8212147

年末調整説明会

年末調整は、毎月の給料やボーナスから源泉徴収した所得税と、1年間の給与総額に対する年税額との差額を精算するもので、給与所得者にとつては確定申告に代わる大切な手続きとなります。

△石巻文化センター会場▽

■開催日 11月21日(火)

■時間 受付 13時〜

■開催者 石巻税務署

△市コミュニティセンター会場▽

■開催日 11月27日(月)

■時間 受付 13時〜

■開催者 石巻税務署

△市コミュニティセンター会場▽

■開催日 11月27日(月)

■時間 受付 13時〜

■開催者 石巻税務署

△市コミュニティセンター会場▽

■開催日 11月27日(月)

■時間 受付 13時〜

■開催者 石巻税務署

△市コミュニティセンター会場▽

■開催日 11月27日(月)

■時間 受付 13時〜

■開催者 石巻税務署

△市コミュニティセンター会場▽

■開催日 11月27日(月)

■時間 受付 13時〜

11月13日(月)から19日(日)は 全国一斉「女性の権利ホットライン」強化週間

女性をめぐる各種の権利問題について、女性の権利擁護委員、弁護士が電話相談に応じます。秘密は固く守ります。

■開設時間 月〜金曜日

8時30分〜19時30分

土・日曜日 10時〜17時

■相談料 無料

■電話番号 ☎0570-070-810

※あらかじめ要予約

■問 仙台法務局人権擁護部

☎022-225-5611

11月11日(土)〜17日(金)は税を考える週間

■開催日時

11月13日(月) 13:30

11月15日(水) 14:00

11月13日(月)〜17日(金)

11月17日(金) 13:30

11月20日(月) 13:30

行事名

国税モニターとの座談会

納税表彰式

小学生による「税をあらわす習字」展

租税教育実践発表会(女川地区)

租税教室実践発表会(石巻地区)

会場

石巻税務署

石巻グランドホテル

さくら野百貨店 石巻店

女川町生涯学習センター

石巻ルネッサンス館

相談

無料司法書士法律相談

相談者の秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

■日時 11月10日(金)

10時から15時まで

■場所 市コミュニティセンター

■受付 随時しています。

■相談時間は、10時〜15時

※要電話予約(8人限定)

△今後の無料司法書士法律相談日程▽

■開催日 12月5日(火)

■会場 小野公民館

■開催日 1月12日(金)

■会場 市コミュニティセンター

■開催日 2月(別途広報にてお知らせします)

■会場 市コミュニティセンター

■開催日 3月6日(火)

■会場 小野公民館

■問 総務課行政係

☎内線 1215・1216

心の健康相談

ストレスなどの悩みや、ひきこもり、または痴呆や精神疾患で相談したいことのある方、お気軽にご相談ください。

■相談日 11月16日(木)

14時〜17時

■担当医 赤坂病院

赤坂正志先生

■場所 市コミュニティセンター

■申込 11月9日までに電話でご予約ください。

■問 福祉課社会福祉係

☎内線 1174・1175

無料人権相談

毎日の暮らしの中で起こるさまざまな問題、暴力、いじめ、家庭問題などの相談を人権擁護委員が受け、解決のお手伝いを行います。相談は無料で秘密は堅く守られます。

■日時 11月10日(金)

■場所 市コミュニティセンター

■問 市民課窓口サービス係

☎内線 1121

オストメイト(ワロイレ)相談会

■日時 11月18日(土)

13時〜16時

■会場 仙台市荒町市民センター

■日時 11月25日(土)

13時〜16時

■会場 仙台市福祉プラザ

■対象 県内のワロストミー

・イレオストミーおよび家族

■内容 術後のケア、補装具

■問 (社)日本オストミー協

会宮城県支部

☎0228-3214234

クーリング・オフを知っていますか？

一般に訪問販売で契約した商品について、8日以内に手続きをすれば無条件で契約を解除することができるという制度です（ただしいろいろな制約もありますので、詳しい内容および資料は市役所の相談窓口にお問い合わせください）。

事例1

3日前、知人宅でいろいろな品物がもらえ、健康の話も聞けると聞き出かけた。いろいろな日用品をもらった後、体も楽になると勧められ、健康器具を買ったが、家に帰り冷静になって考えてみると、無駄な買い物に思えたので解約できないか？

☆回答☆

契約してから4日目なので、クーリング・オフができます。

事例2

7日前、祖母が消火器の点検に訪れた業者に、消火器の購入を勧められ契約したが必要がないので解約したい。

☆回答☆

契約してから、8日目なので今日中にクーリング・オフの書面を送る必要があります。

※クーリング・オフの期間が過ぎても解約できる場合がありますのであきらめずに相談してください。

〈クーリング・オフするときのはがきの書き方〉

<p>郵便はがき</p> <p>〒□□□-□□□□</p> <p>○市○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○販売会社</p> <p>○課</p> <p>御中</p> <p>住所 契約者名フリガナ ㊞</p>	<p>契約申込日 平成〇年〇月〇日</p> <p>書面受領日 平成〇年〇月〇日</p> <p>1 販売店住所</p> <p>2 販売店名</p> <p>3 電話番号</p> <p>4 商品・役務名</p> <p>右記日付の契約は解除します。</p> <p>平成〇年〇月〇日</p>
---	--

※両面コピーをし、郵便局の窓口で「簡易書留」か「配達記録」で出します。クレジット払いの場合は、信販会社へも通知が必要です。

■問 消費生活相談 ☎内線 1129・2105

国保のしおり

人工透析を要する上位所得者※の自己負担限度額が変わります

高額の治療を長期間継続して行う必要がある疾病の場合、1カ月の自己負担額は1万円までとされていましたが、慢性腎不全で人工透析を要する上位所得者については、自己負担限度額が1万円から2万円に引き上げられます。

※上位所得者…総所得金額が600万円を越える世帯。

平成18年9月30日まで
10,000円



平成18年10月1日から
20,000円

■問 保険課国民健康保険係 ☎内線 1152

国民ねんきんだより

年金受給者の方の「現況届」が不要となります

これまで年金を受けている方の現況確認として、年に1回「現況届」を提出することになっていましたが、年金受給者の負担軽減のため、今後は住民基本台帳ネットワークシステムを活用して現況確認を行うこととなります。これにより、12月生まれの方から順次、現況届の提出が原則不要となります。

〈ご注意ください〉

例外として、住民基本台帳ネットワークシステムを活用した現況確認を行えない方については、今後も現況届の提出が必要となります。

〈主な例〉

- ・社会保険庁で保有している本人基本情報（氏名、性別、生年月日、住所）と住民基本台帳ネットワークシステムの情報が相違し、住民票コードを確認できない方など
- 〈加給年金額対象者の生計維持確認や診断書などの提出は引き続き必要となります〉

1. 加給年金を受けられるかどうかの生計維持の確認が必要な方については、社会保険庁から送付する「生計維持確認届」の提出が必要となります。※「生計維持確認届」の提出がない場合は、加給年金額のみ支払いが一時止まります。
2. 障害の程度の確認が必要な方については、社会保険庁から送付する診断書の提出が必要となります。※診断書の提出がない場合は、年金の支払いが一時止まります。

■問 ねんきんダイヤル ☎0570-07-1165

市民のカレンダー 11月 ~November~

11月1日~12月2日

日 ~SUN~	月 ~MON~	火 ~TUE~	水 ~WED~	木 ~THU~	金 ~FRI~	土 ~SAT~																																																			
<p><11月9日(木)~15日(水)は平成18年度火災抑止運動> 「住宅防火 いちを守る 7つのポイント」 —3つの習慣・4つの対策— <3つの習慣> ・寝たばこは、絶対やめる ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する ・ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す <4つの対策> ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する ・寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する ・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火などを設置する ・お年寄りや身体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制を作る</p>																																																									
<p>5</p> <p>■生活相談 小野公民館 10:00 ■人形劇鑑賞(大塩保)</p>	<p>6</p> <p>■図書館休館日 ■家庭教育学級学習会(矢本東小) ■避難訓練(大曲小・鳴瀬一中) ■英語ふれあい教室(中央幼) ■総合避難訓練(大曲保)</p> <p>■総合避難訓練(赤井北保)</p>	<p>7</p> <p>■市民課窓口延長 ~19:00 ■教育相談(夜)10:00 ■行政相談(小野公民館) 10:00~15:00 ■5年PTA行事(矢本東小) ■持久走記録会(赤井南小) ■母親研修会(鳴瀬幼)</p>	<p>8</p> <p>■おはなし会(夜)15:00 ■就学時健康診断(矢本東小) ■自主公開研究会(宮戸小) ■職場体験(矢本二中、~10日) ■防災避難訓練(鳴瀬二中) ■人形劇(中央幼、矢本保)</p>	<p>9</p> <p>■夜間開館(夜)~19:00 ■職場体験(鳴瀬一中、~10日) ■囲碁将棋のつどい(夜) 10:00 ■職場訪問(はなぶさ幼、~10日) ■ちびっこクラブ(中央・大曲幼)</p>	<p>3</p> <p>文化の日 ■図書館休館日 ■1年親子レク(鳴瀬二中) ■市民文化祭 舞踊の部(東二)</p> <p>■平成19年度入園受付開始(中央・大曲幼、~10日)</p>	<p>4</p> <p>■おはなし会(夜) 15:00 ■市民文化祭 芸能の部(小野公民館)、展示の部(小野地区体育館)</p>																																																			
<p>12</p> <p>■東松島高等学校講堂(新体育館)落成記念式典 10:00 ■G・うさぎ朗読会(夜) 13:30</p>	<p>13</p> <p>■図書館休館日 ■市内巡回作品展(矢本東小、~17日) ■鳴瀬中体験入学(宮戸小) ■入学説明会(鳴瀬一中) ■学校訪問(鳴瀬二中) ■教育相談(矢本一中) ~21日 ■誕生会(はなぶさ幼)</p> <p>■機能訓練(夜) 9:30 ■避難訓練(大曲幼)</p>	<p>14</p> <p>■鳴瀬総合支所口延長 ~19:00 ■教育相談(夜)10:00 ■持久走記録会(矢本東小、~15日) ■4年ふるさと教室(赤井・赤井南小、~15日・松島自然の家) ■市民参観日(赤井南小、~15日) ■就学時健康診断(宮戸小) ■年長体育教室(中央幼)</p>	<p>15</p> <p>■犬・猫引取り日(9:50~10:00(鳴瀬)(10:15~10:30(矢本)) ■おはなし会(夜) 11:00、15:00 ■矢本二中市民参観日(大曲・赤井小、~16日) ■持久走記録会(野蒜小) ■七五三参拝(のびる幼)</p>	<p>16</p> <p>■夜間開館(夜) ~19:00 ■避難訓練(矢本二中) ■年少体育教室(中央幼)</p> <p>■就学時健康診断(浜市小) ■持久走記録会(宮戸小) ■七五三祝集会(はなぶさ幼) ■2歳児教室(鳴瀬幼)</p>	<p>17</p> <p>■市教研一斉授業研究会 ■避難訓練(宮戸小・中央幼) ■生活相談(夜) 10:00 ■誕生会(のびる幼)</p> <p>■囲碁将棋のつどい(夜) 10:00 ■誕生会(のびる幼)</p>	<p>18</p> <p>■おはなし会(夜) 15:00 ■保護者会(矢本幼) ■保育参観とクラス懇談会(鳴瀬幼)</p>																																																			
<p>19</p> <p>■図書館ボランティア養成講座(東二) 13:00~受付</p>	<p>20</p> <p>■図書館休館日</p>	<p>21</p> <p>■市民課窓口延長 ~19:00 ■教育相談(夜)10:00 ■4年ふるさと教室(矢本西・大塩小、~22日) ■就学時健康診断(大曲小) ■第4回役員会(のびる幼) ■おもちゃつき会(はなぶさ幼)</p>	<p>22</p> <p>■おはなし会(夜) 15:00 ■就学時健康診断(赤井小) ■野蒜小祭り(野蒜小) ■三者面談(矢本二中、~29日) ■収穫感謝祭(矢本幼) ■映画会(鳴瀬幼)</p>	<p>23</p> <p>勤労感謝の日 ■図書館休館日</p>	<p>24</p> <p>■図書館休館日 ■就学時健康診断(赤井南小) ■小野小祭り(小野小)</p>	<p>25</p> <p>■おはなし会(夜) 15:00 ■おゆうぎ会(大曲幼) ■なかよし発表会(大曲浜・赤井北・赤井南・牛網・野蒜・小野保)</p>																																																			
<p>26</p> <p>■大根狩り 9:00~11:00 赤井字星場地内</p>	<p>27</p> <p>■図書館休館日 ■リズム縄跳び奨励週間(矢本東小、~12月1日) ■個別懇談(矢本西小、~12月1日) ■教育相談(大塩小、~30日) ■3年三者面談、1・2年二者面談(鳴瀬一中、~12月5日)</p>	<p>28</p> <p>■鳴瀬総合支所口延長 ~19:00 ■教育相談(夜)10:00 ■4年ふるさと教室(野蒜・宮戸小) ■機能訓練(夜) 9:30</p>	<p>29</p> <p>■おはなし会(夜) 15:00 ■校内造形展(大曲小、~12月1日) ■開校記念集会(赤井小)</p>	<p>30</p> <p>■夜間開館(夜) ~19:00 ■3年学年PTA行事(矢本東小) ■4年ふるさと教室(小野・浜市小、~12月1日) ■誕生会(中央・大曲幼) ■囲碁将棋のつどい(夜) 10:00</p>	<p>12/1</p> <p>■学習参観日(大曲小) ■入学説明会(鳴瀬二中宮戸小) ■クリスマスお遊戯会(はなぶさ幼)</p>	<p>2</p> <p>■おはなし会(夜) 15:00 ■なかよし発表会(矢本東・矢本西・大塩保・中央幼)</p>																																																			
<p>東松島市から飲酒運転を根絶しよう!!</p> 		<p>体育施設一般開放日</p> <p>(A)…市民体育館 (B)…バウンズ88 (C)…赤井地区体育館 (D)…テニスコート(矢本運動公園)</p> <p>日時を変更する場合があります。お問い合わせは、スポーツ振興課(鳴瀬庁舎内)まで ☎内線 2245</p>		<p>お問い合わせはこちら</p> <table border="0"> <tr> <td rowspan="10">市役所ほか</td> <td>役所</td> <td>82-1111</td> <td rowspan="10">市(東二)</td> <td>東松島市コミュニティセンター</td> <td>82-6969</td> </tr> <tr> <td>鳴瀬</td> <td>82-1111</td> <td>大曲地区コミュニティセンター</td> <td>82-5965</td> </tr> <tr> <td>矢本</td> <td>82-1123</td> <td>市(赤)</td> <td>赤井地区体育館</td> <td>82-6803</td> </tr> <tr> <td>鳴瀬</td> <td>82-1111</td> <td>矢運</td> <td>矢本運動公園</td> <td>82-6804</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>83-2851</td> <td>鷹来</td> <td>鷹来の森運動公園</td> <td>82-1101</td> </tr> <tr> <td>矢子</td> <td>84-2676</td> <td>奥運</td> <td>奥松島運動公園(バウンズ88含む)</td> <td>88-4588</td> </tr> <tr> <td>鳴子</td> <td>87-2338</td> <td>健増</td> <td>健康増進センター</td> <td>84-3855</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>82-1120</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縄文</td> <td>88-3927</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蔵</td> <td>84-1770</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				市役所ほか	役所	82-1111	市(東二)	東松島市コミュニティセンター	82-6969	鳴瀬	82-1111	大曲地区コミュニティセンター	82-5965	矢本	82-1123	市(赤)	赤井地区体育館	82-6803	鳴瀬	82-1111	矢運	矢本運動公園	82-6804	夜	83-2851	鷹来	鷹来の森運動公園	82-1101	矢子	84-2676	奥運	奥松島運動公園(バウンズ88含む)	88-4588	鳴子	87-2338	健増	健康増進センター	84-3855	夜	82-1120				縄文	88-3927				蔵	84-1770			
市役所ほか	役所	82-1111	市(東二)	東松島市コミュニティセンター	82-6969																																																				
	鳴瀬	82-1111		大曲地区コミュニティセンター	82-5965																																																				
	矢本	82-1123		市(赤)	赤井地区体育館	82-6803																																																			
	鳴瀬	82-1111		矢運	矢本運動公園	82-6804																																																			
	夜	83-2851		鷹来	鷹来の森運動公園	82-1101																																																			
	矢子	84-2676		奥運	奥松島運動公園(バウンズ88含む)	88-4588																																																			
	鳴子	87-2338		健増	健康増進センター	84-3855																																																			
	夜	82-1120																																																							
	縄文	88-3927																																																							
	蔵	84-1770																																																							

●健康相談・予防接種のお知らせ

行事	対象者	実施月日	受付時間	会場
7カ月健康相談	平成18年4月生	11月21日(火)	9:00~9:20	矢本子育て支援センター
10カ月健康相談	平成18年1月生	11月21日(火)	13:00~13:20	矢本子育て支援センター
赤ちゃん相談	妊産婦および生後4ヵ月程度までの赤ちゃん	11月14日(火)	9:30~11:30	矢本子育て支援センター
乳幼児健康相談	乳幼児および保護者の方	11月7日(火)	9:30~11:30	矢本保健相談センター
B C G 予防接種	平成18年7月25日~8月10日生(矢本地区)	11月10日(金)	13:00~13:30	矢本保健相談センター
麻しん風しん混合予防接種	平成17年7月~8月生(矢本地区)	11月14日(火)	13:00~13:30	矢本保健相談センター
	平成17年7月~9月生(鳴瀬地区)	11月9日(木)	13:00~13:30	鳴瀬保健相談センター
三種混合予防接種	平成18年2月~5月生 1回目(鳴瀬地区)	11月16日(木)	13:00~13:30	鳴瀬保健相談センター

※該当外で接種希望の方は、ご連絡ください。

※予防接種の該当者には事前に予診票を送付します。予診票が届かない方と、転入された方はご連絡ください。

◆乳幼児の健康診査の日程は、生涯学習カレンダーまたは個人通知をご覧ください。

●乳がん検診(矢本地区)のお知らせ

検診申込者には、検診日時記載の受診票をお送りします。ご都合により指定日に受診できない方は下記日程の都合の良い日に受診してください。

また、申し込みをせず受診希望をする方は健康推進課まで問い合わせください。

対象地区	実施月日	受付時間	会場
上町一、二、三・北区官舎・駅前	11月20日(月)	8:00 ~ 8:30	矢本保健相談センター
河戸・四反走・上浜二		9:30 ~ 10:00	
上河戸一		12:00 ~ 12:30	
上河戸二、三	11月21日(火)	8:00 ~ 8:30	
上河戸四・若葉・下町一		9:30 ~ 10:00	
下町二・六槍・八幡・裏・下町五		12:00 ~ 12:30	
大溜・新川前・南四	11月22日(水)	8:00 ~ 8:30	
東大溜・関の内一、二		9:30 ~ 10:00	
関の内三・作田浦		12:00 ~ 12:30	
下浦・浜須賀・南浦官舎・自衛隊・上小松	11月24日(金)	8:00 ~ 8:30	
立沼・鹿妻一、二・前柳		9:30 ~ 10:00	
道地・沢田・前里・手招		12:00 ~ 12:30	
下小松・谷地・小松台	11月27日(月)	8:00 ~ 8:30	
柳西・表		9:30 ~ 10:00	
横沼東、西		12:00 ~ 12:30	
横沼二・貝殻塚二	11月28日(火)	8:00 ~ 8:30	
横沼一・貝殻塚一・貝田		9:30 ~ 10:00	
筒場・高田・上浜一・西新町		12:00 ~ 12:30	
上浜三・下浜一、二・御下	11月29日(水)	8:00 ~ 8:30	
照井・中東・寺・下町三		9:30 ~ 10:00	
横関・南一、二、三		12:00 ~ 12:30	
下町四・南五、六	11月30日(木)	8:00 ~ 8:30	
南緑・南新一、二		9:30 ~ 10:00	
柳北、上		12:00 ~ 12:30	
柳下・中・裏一	12月1日(金)	8:00 ~ 8:30	
五味倉・上納		9:30 ~ 10:00	
塩入・小分木・大島・裏二		12:00 ~ 12:30	

●骨密度検診のお知らせ

市では、今年度も69歳以下の女性を対象にして、骨密度検診を実施します。検診申込者には、検診日時記載の受診票をお送りします。ご都合により指定日に受診できない方は、下記日程の都合の良い日に受診してください。

また、申し込みをせず受診希望をする方は健康推進課まで問い合わせください。

対象地区	実施月日	受付時間	会場
上町一、二、三、北区官舎、駅前、河戸、四反走、西新町、上河戸一、二、三、四	11月27日(月)	9:30 ~ 11:30	矢本保健相談センター
若葉、下町一、二、三、四、五、大溜、東大溜、関の内一、二、三		13:00 ~ 15:00	
作田浦、下浦、浜須賀、南浦官舎、立沼、鹿妻一、二、道地、上小松、沢田、前里、手招、前柳、下小松、谷地、小松台、五味倉	11月28日(火)	9:30 ~ 11:30	
上納、横沼東、西、一、二、貝殻塚一、二、貝田、筒場、高田、上浜一、二		13:00 ~ 15:00	
上浜三、下浜一、二、照井、御下、中東、寺、六槍、八幡、裏、横関、南一、二、三、新川前、南四、五、六	11月29日(水)	9:30 ~ 11:30	
南緑、南新一、二、柳北、上、下、西、塩入、表、中、小分木、大島、裏一、二		13:00 ~ 15:00	
上下堤下、川下上、下、往還、平岡、浜市下、上	12月5日(火)	9:30 ~ 11:30	小野公民館
本町、城内、新道、田町、根古、高松、新田、西福田下、上、肘曲、上下堤上		13:00 ~ 15:00	
東名新場、新東名北、南、大塚、里北、南、月浜、大浜、室浜	12月6日(水)	9:30 ~ 11:30	野蒜公民館
浅井、中下、新町、亀岡東、西、南、洲崎、東名元場		13:00 ~ 15:00	

東松島 訪ねある記

東松島市文化財保護審議会会長の松谷英世氏より市の指定の天然記念物である「宮戸島セッコク」に関する一文を執筆いただきましたので、ご紹介します。

去る6月13日(火)、市文化保護各委員ならびに市文化財担当職員などによる市指定である天然記念物「宮戸島のセッコク」(平成8年2月26日指定)の植生状況調査を実施した。洋上現地案内役は宮戸の植物を守る会、会長の佐藤康男氏と小野輝悦氏との2名である。宮戸の大浜漁港から救命胴衣を着用して小型の船に乗り、嵯峨溪に向かう。石巻湾の外洋に面する嵯峨溪は、連続した断崖絶壁で島の名称も数



▲咲きほこる「宮戸島セッコク」



▲みごとな自然美を見せる嵯峨溪

多く、ガイドマップによると43の名称が紹介されている。当地は岩礁が荒波に洗われてできた奇岩、洞窟など、船上から見る景観は例えようがない。島、岬角の突端は海蝕による自然美は、さすが「特別名勝松島」の代表的景観の一島に位置づけられている。

さて、「宮戸島のセッコク」の植生状況を船上からの調査。ちょうど6月のこのころが美しい花が見ごろだとか、佐藤康男氏の話によると以前当地に自生する貴重なセッコク(ラン科、岩上や樹上に着生する常緑の植物、別名、イワタケ、岩手県が北限とされている。県内では名花として珍重)の着生群が面積にして約置一枚分がそっくりと盗掘にあつたという。最近になって除々に戻りつつあるが、まだまだ昔のような姿には復活されてないとのことである。現在、豊かな自然を後世に伝えようと宮戸地区住民が丸となって貴重な植物を守る運動を実施し、監視態勢を強化して本格的に天然記念物の保護に乗り出している。

このたびの海上から嵯峨溪域の「セッコク」生息分布状況を調査して感じたことは、名勝の嵯峨溪に植生する貴重な植物は、皆の財産であるので全市民が、この貴重な「セッコク」に誇りを持ち、さらに一人ひとりが保護意識の高揚を図る必要があると痛感した次第である。

市文化財保護審議会会長 松谷 英世

今月の表紙

今月の表紙は10月8日(日)に大曲地区「コミュニティセンター」で行われた「キッズあそびうたコンサート」(市青少年健全育成市民会議主催)での「コマ」です。

「コンサートではアトリエ自遊楽校(仙台市)の音楽家、たかはしあきらさんと同楽校の舞踏家、渡辺理佳さんが登場。ピアノやギターの演奏に合わせて、手足を使って触れ合う遊びを繰り広げました。

会場には親子など約100人が訪れ、一緒に歌や踊りを満喫。お父さんやお母さんのひざの上で楽しそうに笑う姿が、多く見られました。



▲ステージ上のりかちゃん、あきらくんと一緒に踊りました

編集室から

今回の特集をつくりながら、ふと自分の子どもがこのことを思い出しました。家の近所には、地区の子どもたちから恐れられているおじちゃんやおばちゃんがいまいた。なぜ恐れられていたのかといいますが、「いたずら」や「危険な遊び」などをしている、すぐに怒られたからです。そのころの自分や友人たちは、「○○じい」「○○ばあ」と陰口を言ったものでした。もちろん、今考えれば、それは自分たちのことを心配して怒ってくれていたのだと、よく分かります。そして、それだけ地域の大人たちの目が、子どもたちに向けられていたということも。

「英語が全然わからない」そんな担当ですが、国際交流の会場に取材に行きました。

会場には、日本語を勉強してペラペラにしゃべれるさまざまな国の方がいました。その中で、中国から来日して8年になる方と話をした担当。

「こんにちは」と話しかけると、「しっかりとした日本語で出身地や、日本で今何を勉強しているかなどを答えてくれました。」

おまいの日本語の堪能さに「日本語が上手ですね」と素直に感想を話すと、「恐縮です」と一言。

日本人の私でも使わないような会話表現に本当に恐縮してしまっただけでした。

尾形

